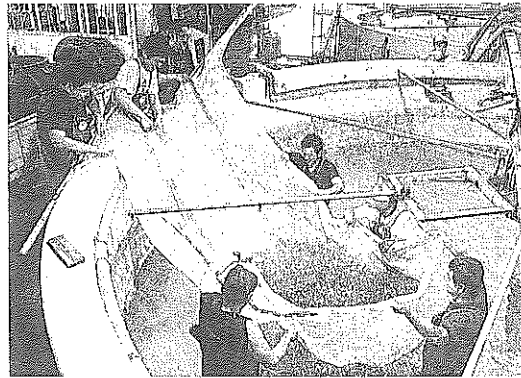
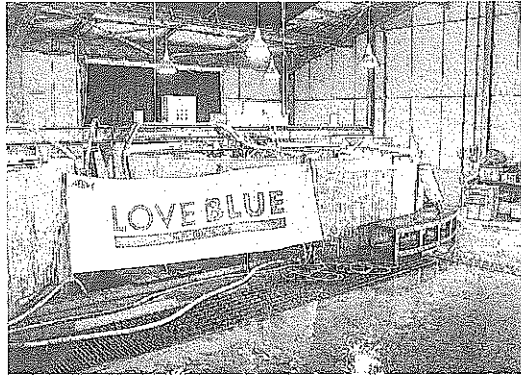


# つり環境ビジョン稚魚放流

## 8月にマダイ20万尾を

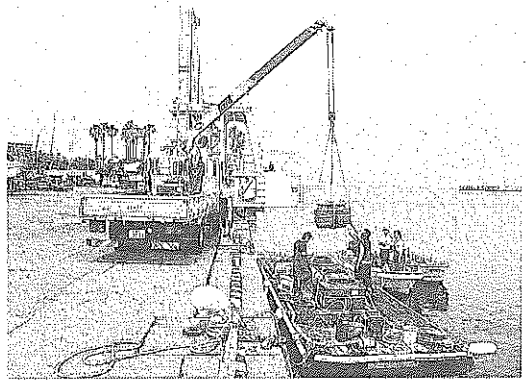
LOVE BLUE地 七年度放流事業の準備に  
 球の未来を―をスロー この春から着手し、八月  
 ガンに活動を展開してい 上旬を目途にマダイの稚  
 る(一社) 日本釣用品工 魚を放流する予定だ。  
 業会・つり環境ビジョン (公財) 神奈川県栽培  
 事務局では、優先三事業 漁業協会の協力を得て去  
 のひとつである平成二十 年の四月二十日、マダイ受



精卵を静岡県温水利用研  
 究センターから仕入れ、  
 放流に向けた作業をスタ  
 ート。今年度は約三百万  
 粒の受精卵を確保し、同  
 協会・魚類飼育棟内の円  
 形水槽五基にて、孵化お  
 よび飼育を続けてきた。  
 無事に孵化したマダイ  
 種苗は、その後ムシ等の  
 プランクトンをエサに  
 順調に約20㎞まで成長。  
 そして、六月四日には三  
 浦半島・小網代湾に設置  
 されている中間育成施設  
 への移設作業を実施。こ  
 の作業もすべて順調に終  
 了し、今後マダイ種苗は  
 放流までの約二カ月間  
 を、海上にある中間育成  
 施設で過す。

①神奈川県栽培漁業協会の魚類飼育棟、②マダイ種苗を移設

外敵に襲われにくいと



③クレーンを使い湾内の施設に移設、④海上の中間育成施設

言われる約60㎞まで育て  
 たあと、人工マダイの身  
 体的特徴である鼻孔隔壁  
 の欠損等を調べ、そのう  
 ションの放流事業分とし  
 て、八月上旬頃を目途に  
 放流する計画だ。  
 なお、昨年度のマダイ  
 尾、総計二十尾を放流し  
 ち二十万尾をつり環境ビ  
 種苗は七月三十日に、神  
 奈川県の東京湾口・松輪  
 沖に五万尾、横須賀沖に  
 十万尾、金沢沖に五万  
 尾、総計二十尾を放流し